



2019年11月16日～2019年11月22日

2019年11月25日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに小幅に下落しました。また、2年国債金利は小幅に上昇しました。

ブラジル国内でのニュースが少ない中、ブラジル金融市場は小動きの展開となりました。米中通商交渉に関しては、米国下院にて香港人権法案が可決、トランプ米大統領が署名するとの見通しを受けて、米中通商交渉への悪影響が懸念され、ややリスク回避の動きが強まりました。

一方、ロベルト・カンポス・ネット中央銀行総裁は足元のブラジル・レアル安は企業の財務活動によるもので、インフレ期待に悪影響を与えるものではないとの認識を示しました。

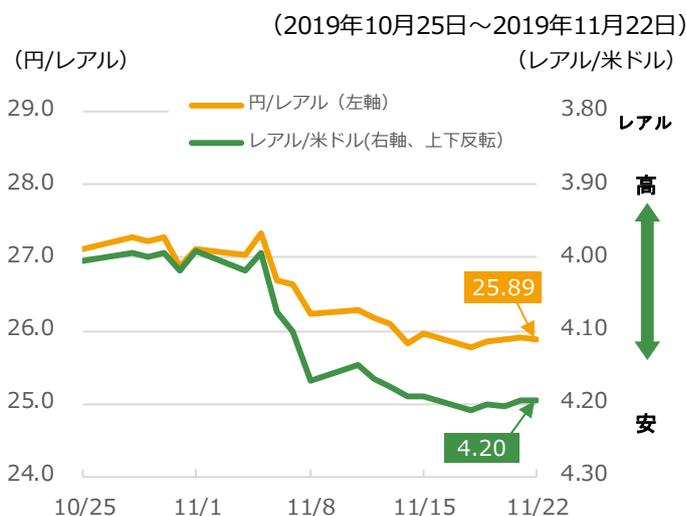
経済指標に関しては、11月のIPCA-15インフレ率が発表され、市場予想を下回る内容となり、引き続きブラジルのインフレ率が低位で安定していることが示されました。

今週の見通し

今週は各種インフレ率や基礎的財政収支などの経済指標の発表が予定されています。

中央銀行総裁が足元のブラジル・レアル安によるインフレ期待の上昇を否定したことで、12月には予定通り政策金利の引き下げが行われると考えられます。市場では2020年にも追加で利下げが行われると予想されていますが、足元のブラジル・レアル安を踏まえ、今後はどこまで中央銀行に利下げ余地があるのかを探る展開になりそうです。

ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。